

信仰について

祖父の女性問題がご守護したこと、妹さんの心臓の病気のため、家族で心定めをしてご守護したこと、妻の卵巣癌のため心定めをしたが助からないので、親神様に無条件に心定めをしたことによりご守護いただいたことなど、信仰により数々の大きなご守護をいただいた。現在、教会長であり里親として取り組んでいる。

里親について

里親を始めた動機が、マザーテレサとの出会いだった。マザーテレサの清貧を貫き、人を助ける姿を見て、感動し里親になった。人間は人を助ける時感動するものである。

複雑な家庭環境の中で育った子どもたちを里親として、育てさせてもらっている。子どもを育てる中、挫折し心倒れそうになった時、たんのうするという神様との約束を思い出し頑張っている。

今、里親として、子育てしにくい時代である。里親は子どもに手を出してはいけない。また、宗教の強要をしてはいけない。などである。

子どもが成長し、家を出た時、何かに悩んだり困難に遭遇したりすることがある。その時、帰る場所として、里親があるのは安心である。

現在自分は離婚をしているが、里親として 子どもを預かるよう頼まれている。たんのうの心定めをし、里親として今後も精一杯努力していきたいと考えている。

質疑応答意見交換

○小6 女兒を年長から預かっているが、女の子なので妻が主体的に育てている。松浦先生は男性1人でよく育てていらっしやると感心する。

○小さい子は素直に信仰に入りやすい。小さい子ほど順応性がある。

○子どもの接し方で気をつけていること

小さい頃の愛着障害をケアする事は難しい。腹を立てない子育てをしていくことや肯定的な言葉がけをすることが大切である。

○現在施設から通う小学生がいる。親がしっかり育てられないので、施設の方が経済面では充分であるが、精神的には恵まれないところがある。

○何かあったら帰ってくる場所、里親がいる事は精神的に良い。小さいうちから里親で預かる事はとても良いことだと思う。